

# 「この1冊が、わたしを変える。」大人気のライト文芸レーベル スターツ出版文庫新刊 5月28日（日）全国書店にて発売開始！

小説投稿サイト「野いちご」「Berry's Cafe」「ノベマ！」を運営するスターツ出版株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：菊地修一）は「スターツ出版文庫」の新刊を、5月28日（金）より全国書店にて発売開始いたします。

■スターツ出版文庫新刊情報>> <https://novema.jp/bookstore/start/202305>

■『ノベマ！』<https://novema.jp/> ■『野いちご』<https://www.no-ichigo.jp/> ■『Berry's Cafe』<https://www.berrys-cafe.jp/>



## 『100日間、あふれるほどの「好き」を教えてくださいましたきみへ』

永良サチ（ながらさち）／著、イラスト／ピスタ  
定価759円（本体690円+税10%）  
ISBN: 978-4-8137-1434-7

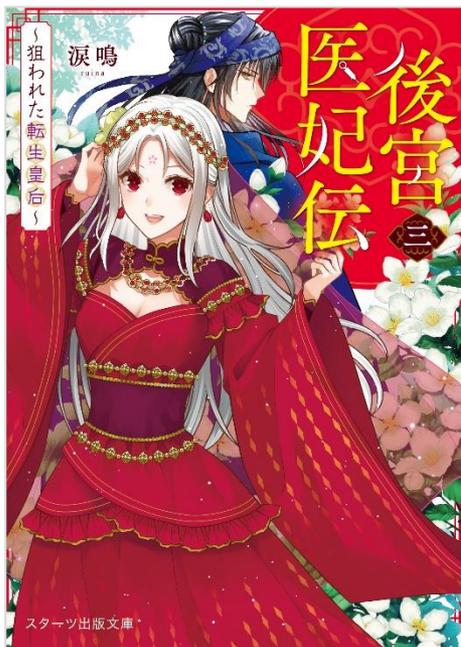
【あらすじ】 余命3カ月と宣告された高1の海月は、心細さを埋めるため、帰り道に偶然会ったクラスの人気者・悠真に「朝まで一緒にいて」と言ってしまう。海月はそのことを忘れようとするが、海月の心の痛み気づいた悠真は毎日話しかけてくるように。「俺は海月と一緒にいたい」とストレートに気持ちを伝えてくれる悠真に心を動かされた海月は、一秒でも長く前向きに生きることを決意する——。ふたりのまっすぐな愛に涙が止まらない、感動の青春恋愛小説!!



## 『十月の終わりに、君だけがいない』

いぬじゅん／著、イラスト／あすぱら  
税込715円（本体650円+税10%）  
ISBN: 978-4-8137-1435-4

【あらすじ】 高2の由芽には、昔から繰り返し見る夢があった。古い神社、学ラン姿の青年、悲しい別れ…。それはまるで前世の記憶のようにリアルで切ない夢。そんなある日、夢の中の青年にそっくりの蒼杜が転校してくる。運命を感じる由芽だったが、「君は十月に死ぬ運命だ」と、突然彼に宣告されてしまう。実は、蒼杜は由芽を死なせないために過去から来た人物だった——。「君のことは俺が守るから」夢の中だけだったはずの恋が本物になっていくのを感じる由芽。けれど、生き延びても死んでも、彼とは結ばれないと知って——。



## 『後宮医妃伝三～狙われた転生皇后～』

涙鳴(るいな)／著、イラスト／漣ミサ  
 税込770円(本体700円+税10%)  
 ISBN: 978-4-8137-1436-1

【あらすじ】元看護師の白蘭は、転生して後宮の医妃となり、皇子たちの帝位争いに巻き込まれながらも、雪華国の皇帝・琥劉に溺愛され皇后となった。そんな中、皇帝不在の蛇鴻国統治のため、南国を訪れた琥劉一行。雪国の雪華国とは違った暑い気候に戸惑う白蘭だったが、民族衣装を纏い琥劉と旅行気分を楽しんでいた。しかし新皇帝即位は進まず、先帝の妻・蠟盜皇后と白蘭は対立し…。一方、皇子候補に会いにいった琥劉が刺客に追われ、白蘭に最大の危機!? 二人の絆が異国の後宮の悪しき病を癒す、転生後宮ファンタジー第3弾！

## 『今宵、氷の龍は生贄乙女を愛す』

蛙田アメコ(かえるたあめこ)／著、イラスト／夜咲こん  
 税込704円(本体640円+税10%)  
 ISBN: 978-4-8137-1437-8

【あらすじ】大正と昭和の間にあった、とある時代にふたりは出会った——。養子として義両親に虐げられ育った幸せを知らない少女・唐紅和泉。龍の血を引くことで孤独に暮らす滝ヶ原虹月。ふたりは帝の計らいで引き合わされ、お互いの利害一致のため和泉はかりそめの許嫁として、虹月と暮らすことに。でも彼は龍の血にまつわる秘密を抱えていて…!? 「虹月さまを怖いと思ったことなど一度もありません」「正式に俺の花嫁になってくれるか？」生贄乙女となった少女が幸せを掴むまでのあやかし和風シンデレラ物語。



## 『わたしの嘘つきな神様』

三柴ヲト(みしばをと)／著、イラスト／ごろく  
 税込671円(本体610円+税10%)  
 ISBN: 978-4-8137-1438-5

【あらすじ】幼いころに母を亡くした七瀬月乃は身内に引き取られるも、家に居場所はなく孤独だった。高2の夏、あることがきっかけで月乃は今まで我慢していたものが一気に溢れ家を飛び出す。向かった先は通称「なりそこない神社」。「神様…」と願うと、そこには「なりそこないの神様」と名乗る不思議な青年が現れて…!? なんと見た目は月乃の憧れの設楽先輩とそっくり。彼の導きによって月乃は少しずつわだかまりを解消しようと歩みだしていく。でも神様と名乗る彼には過去にある秘密を抱えていた——。ラスト、彼の嘘に涙する！

